

日本心臓血管麻酔学会第29回学術集会
ランチオンセミナー8

Maruishi
Pharmaceutical
Co., Ltd.
信 頼 と 合 意

日時▶ 2024年9月22日（日）
12:10 ~ 13:10

会場▶ 第**4**会場
ホテルグランヴィア広島 3F 飛鳥
〒732-0822 広島県広島市南区松原町1番5号

座長 垣花学 先生
琉球大学医学部
麻酔科学講座
教授

演者 長坂安子 先生
東京女子医科大学
麻酔科分野
教授・基幹分野長

麻酔と血圧と遺伝子 の不思議な世界

- 本セミナーは整理券制ではございません。
- 現地開催のみ。

麻酔と血圧と遺伝子の不思議な世界

現代の麻酔は、覚醒している患者を突如、可逆性の薬物により『眠り』よりももっと深く生命に危険がおよぶ『昏睡状態』に陥らせ、用が済めばスイッチを入れるが如くに覚醒させることが、ほぼ、できるようになりました。私たちは、毎日の臨床でこうした魔術ともいえる医療を実践し、一定の確率で発生する合併症に対し患者の安全を守り抜くことを、麻酔科学という学問を通して習得し、患者を診療していますが、果たして私たちはその『麻酔』というものを完全に理解し、制御していると言えるのでしょうか。

麻酔薬は脳に作用する薬物ですが、麻酔を導入された患者がほぼ100%経験するのが血圧低下であり、麻酔中の血圧低下は周術期の合併症を増加させ予後を増悪することが複数の研究者により証明されています。しかしながら、その血圧低下の機序はいまだあきらかになっておらず、先行研究では交感神経系の抑制あるいは体内の血管拡張性物質の増加などが原因として報告されていますが、おそらくは多因子Multifactorialによるものと考察されます。

このセミナーでは、そのそれぞれの可能性について文献を用いて考察をおこない、特に一酸化窒素NOによる血管平滑筋の弛緩と血圧低下の可能性について検討します。麻酔と血圧と遺伝子が構成する未解決で不思議な世界に、一緒に訪れてみませんか。